

千葉からの「ありがとう」

○千葉県知事からのお礼

姉妹県である千葉県を襲った壊滅的な自然災害に対し、デュッセルドルフ市民、社会から圧倒的な支援の声が上がった結果、2019年12月、トーマス・ガイゼル市長は千葉県に約74,000ユーロの義援金を渡すことができました。義援金は、できるだけ早く被災者の方々のために役立てられるよう、2019年内に日本へ送金されました。

森田健作知事は、「千葉県を助けよう」募金キャンペーンを成功させたデュッセルドルフ市民、団体、企業、市政府に対し、以下のとおり感謝を表明しています。

○お礼の言葉（2020年1月）

デュッセルドルフ市の皆様へ

このたびの台風・大雨により被災した千葉県民のために義援金をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

千葉県では、昨年9月からの相次ぐ台風・大雨による記録的な暴風雨や突風により、長期にわたる大規模な停電や断水、河川の氾濫や土砂崩れの発生に加え、6万棟を超える住宅が損壊しました。また、農林水産業をはじめとする県内産業にも甚大な被害が生じました。

各被災地におきましては、県内外からの御支援に支えられ、生活再建、産業の再生に向け、懸命の努力をしております。県としましても、引き続き、復旧・復興の実現に向けて、一丸となって取り組んでまいります。

皆様からいただいた義援金は、被災された方々に一日も早くお届けできるよう、準備を進めてまいります。デュッセルドルフ市の数多くの方々が、遠方の地より姉妹都市である本県のことを思ってくださいのお気持ちは、被災した方々を大いに勇気づけ、また、両州市の友情の絆をますます強くするものと確信しています。

改めまして、このたびの御厚情に対し、深く感謝いたします。

千葉県知事 森田 健作